

文京シビック合唱団

第13回定期演奏会

ヴェルディ

レクイエム

指揮 松尾 葉子

(総音楽監督)

独 唱 宮澤 尚子 (ソプラノ)

谷地畝 晶子 (メゾソプラノ)

大澤 一彰 (テノール)

小林 大祐 (バリトン)

合 唱 文京シビック合唱団

合唱指導 松浦 修/泉 智之

管弦楽 アンサンブル・フォルテ



2015年9月5日(土)

15時開演 (開場14時30分)

文京シビックホール 大ホール

最寄駅/東京メトロ丸ノ内線・南北線「後樂園」駅直通

都営地下鉄三田線・大江戸線「春日」駅直通

Bーぐる (文京区コミュニティバス) 停留所1番

「文京シビックセンター (春日駅前)」

○全席自由 2,000円

○チケット販売 7月5日(日)10時より

シビックチケット 03-5803-1111

(10時~19時 土・日・祝休日も受付)

文京区春日1丁目16番地21号

文京シビックセンター2階

主 催

文京シビック合唱団

ホームページ <http://homepage3.nifty.com/greenwave/bchorus/>

共 催

文京区/文京シビックホール (公益財団法人文京アカデミー)

(未就学児童入場ご遠慮ください。出演者に対する花束・その他の贈答品はお預りいたしません。)

お問い合わせ 長谷川 03-3812-0633

鬼久保 03-3821-7943

文京シビック合唱団



1991年に文京区教育委員会が始めた文京区混声合唱講習会がその前身。

2002年7月、文京区および（公財）文京アカデミーの支援の下、地域文化向上の一助となることを目的に自主運営組織として発足。発足当初から故佐藤功太郎氏が総音楽監督に就任。同氏没後、2011年から松尾葉子氏が就任。

これまで、ヘンデル、モーツァルト、フォーレ、プッチーニ、オルフ、ラuterなど、バロックから現代音楽まで幅広く取り上げ、演奏会は文京シビックホール大ホールを拠点に、藝大フィルハーモニアなどと共演しているが、今回のアンサンブル・フォルテとは初の共演。

団員は160名を超え、毎週火曜日文京シビックセンターなどで練習。

指揮 松尾 葉子



名古屋生まれ。お茶の水女子大学教育学部音楽科を卒業後、東京藝術大学指揮科を経て同大学院修了、1981年渡仏、パリのエコール・ノルマルでピエール・デルボー氏に師事。

1982年フランスのブザンソン国際指揮者コンクールで、日本人としては小澤征爾に次いで二人目の優勝。

日本のほとんど全てのメジャー・オーケストラで交響曲、オペラ、オペレッタを指揮、実力と人気を兼ね備えた指揮者として活躍。1999年セントラル愛知交響楽団の常任指揮者に就任。演奏会のみならず地域活動なども活発に行い、同楽団と中部地域の文化の活性化にも大きく貢献。2004年から同楽団の首席客演指揮者、現在は特別客演指揮者。

1982年より30年間、東京藝術大学指揮科で後進の指導に当たった。2011年から文京シビック合唱団総音楽監督。この4月より愛知県立芸術大学客員教授。

ソプラノ 宮澤 尚子



東京藝術大学声楽科卒業、同大学院修士オペラ専攻を首席修了。松田トシ賞、アカンサス音楽賞、同声会賞、武藤舞賞、大学院アカンサス音楽賞を受賞。声楽を伊原直子氏に師事。

これまでにW.A.モーツァルト『ドン・ジョヴァンニ』『イドメネオ』、G.ヴェルディ『椿姫』（びわ湖ホールアカデミー）に出演のほか、L.V.ベートーヴェン『交響曲第九番』など合唱作品のソリストを務める。イタリア・スボレート歌劇場に特別研修員として留学し、各地でのコンサートや、W.A.モーツァルト『コジ・ファン・トゥット』に出演。日本声楽アカデミー会員。オペラアカデミーインS.アマデウス研修生。宗次エンジェル基金／公益法人日本演奏連盟新進演奏家国内奨学生。

メゾソプラノ 谷地 畝 晶子



岩手大学教育学部芸術文化課程音楽コース卒業。東京藝術大学音楽研究科博士後期課程独唱科修了。第16回日仏声楽コンクール第1位。2012年度三菱地所賞受賞。第57回藝大メサイア、第28回台東区第九、第349回藝大合唱定期ベートーヴェン「ミサ・ソレムニス」のアルトソロ、第54回藝大定期オペラ「ファルスタッフ」クイックリー夫人を務める。また、J.S.バッハ「クリスマスオラトリオ」、「口短調ミサ」、「マタイ受難曲」、「ヨハネ受難曲」、モーツァルト、ヴェルディ「レクイエム」、メンデルスゾーン「パウロ」

「エリヤ」等においてアルトソリストで出演している。声楽を佐々木まり子、佐々木正利、故・朝倉蒼生、伊原直子、寺谷千枝子、森晶彦の各氏に師事。岩手大学、岩手県立大学非常勤講師。

テノール 大澤 一彰



東京藝術大学卒業、ローマで研鑽を積む。第44回日伊声楽コンクール第1位、併せてYKK音楽賞、読売新聞社賞等受賞。第1回ルーマニア国際音楽コンクール声楽部門第1位、及び全部門より最優秀賞。新聞紙上で「耳を奪う美声」と絶賛される高音と、180cmを越す恵まれた体躯にて、オペラでは常にプリモテノールを務めており、2012年二期会『カヴァレリア・ルスティカーナ』トゥリッドゥのドラマティックな歌唱は、NHKプレミアムシアターで全国放映された。2013年第56回NHKニューイヤーオペラコンサート出演。同年、日生劇場『リア』（日本初演）エドモンドを見事に歌い、作曲者ライマンより絶賛される。2014、15年両国国技館「5000人の第九」ソリスト。CD『シチリアーナ』好評発売中。

http://www.k-osawa.com/ 二期会会員。

バリトン 小林 大祐



東京藝術大学声楽科首席卒業。同大学院オペラ科修了。明治安田クオリティオブライフ文化財団の奨学生として二年間イタリア・ミラノへ留学。オペラでは、「ファルスタッフ」「ジャンニ・スキッキ」等のタイトルロールをはじめ、「セヴィリアの理髪師」フィガロ、「椿姫」ジェルモン、「ボエーム」マルチェッロ等主要な役を演じる。コンサートでは、ヴェルディ「レクイエム」、オルフ「カルミナ・ブラーナ」等のソリストをつとめる。第14回コンセル・マロニエ21声楽部門第1位。第9回藤沢オペラコンクール第1位。

富山県ひとづくり財団よりとやま賞受賞。これまでに、高橋大海、伊原直子、直野資、N.Zaniniの各氏に師事。二期会会員。

管弦楽 アンサンブル・フォルテ

指揮者・松尾葉子プロデュースによるオーケストラ。

“新しい時代のベートーヴェン”を考察し実行しようと2005年に立ち上げ、東京と名古屋を中心に活動を開始、その活動に注目が集まった。

近年ではベートーヴェンだけでなくニューイヤーコンサート、音楽物語「ペール・ギュント」等の企画や、オペラ「アイダ」などオペラ公演でも高評を得ている。団体名であるフォルテ（Forte）は音楽用語の“強い”という意味であるが、他に「上手い」「優れた」という意味も持っており、文字通り優れた演奏技術とアンサンブル力でメンバー一人一人の個性が湧き出てくるような素晴らしい演奏を日々目指している。ベートーヴェン「英雄」「運命」のCDをリリース中。

団員募集

第14回定期演奏会

2016年9月17日(土)

M.ハイドン 「レクイエム」

J.ハイドン 「テ・デウム」

指揮 松尾 葉子

●連絡先 長谷川 03-3812-0633

鬼久保 03-3821-7943